

「私たちの好きなロマンポルノ」開催にあたり多様な方々から好きな作品を募り、その中から作品を選定しました。ご参加いただいた多くのセクターの方々に感謝いたします。

作品セクターリスト (敬称略 詳しくは劇場HPをご覧ください) *赤字はヴェーラセクション、紫はORGASMセクションで上映

相澤虎之助(映画監督)	「後から前から」
朝吹真理子(作家)	『色情めず市場』
荒木啓子(PFFディレクター)	「桃尻娘くピンク・ヒップ・ガール」
井口奈己(映画監督)	「桃尻娘くピンク・ヒップ・ガール」「母娘監禁・牝」「ピンクのカーテン」
市山尚三(東京国際映画祭プログラミングディレクター)	「天使のはらわた 赤い教室」「閉鎖!! どんでん返し」「嗚呼! おんなたち 猥歌」
入江悠(映画監督)	『色情めず市場』「天使のはらわた 赤い教室」「薔い髪の子」「四畳半襖の裏張り」「赤線最後の日 昭和33年3月31日」
絵沢萌子(俳優)	「濡れた唇」「恋人たちは濡れた」
柄本明(俳優)	「妻たちの性体験 夫の目の前で、今…」「さすらいの恋人 数量めまい」 「花と蛇」
柄本佑(俳優)	「未亡人下宿 初ノリ」「妻たちの性体験 夫の目の前で、今…」「ベッド・パートナー」
柄本時生(俳優)	『色情めず市場』「キャバレー日記」「ベッド・イン」
岡田秀則(フィルムアーキivist)	「閉鎖!! どんでん返し」「狂った果実」「実録阿部定」
奥浜レイラ(パーソナリティ)	『色情めず市場』「薔い髪の子」「嗚呼! おんなたち 猥歌」「牝猫たち」
風祭ゆき(俳優)	「妻たちの性体験 夫の目の前で、今…」「女教師 汚れた放課後」「闇に抱かれて」「性的犯罪」「悪女軍団」
片桐はいり(俳優)	『色情めず市場』「実録おかわる にっぽん一のレスビアン」
片桐夕子(俳優)	『色情めず市場』「薔い髪の子」「一条さゆり 濡れた欲情」「濡れた欲情 特出し!人」
上條葉月(字幕翻訳者)	『色情めず市場』「濡れた欲情 ひらけ! チューリップ」「性盗ねずみ小僧」「白い指の戯れ」「濡れた荒野を走れ」
川瀬陽太(俳優)	「愛欲の罠」「セックス・ライダー 濡れたハイウェイ」「ズーム・アップ ビニール本の女」
草野なつか(映画作家)	「天使のはらわた 赤い教室」
高良健吾(俳優)	『色情めず市場』
小西康陽(音楽家)	「天使のはらわた 赤い淫画」「大江戸性盗伝 女斬り」「暴行切り裂きジャック」「実録不良少女 森」「人妻集団暴行致死事件」「肉の標的・奪う!」「団鬼六 蒼いおんな」
佐々木敦(思考家・作家)	「母娘監禁・牝」「愛欲の日々 エクスタシー」「人妻暴行マンション」
塩田明彦(映画監督)	「黒薔薇昇天」「わたしのSEX白書 絶頂度」「おんなの細道 濡れた海峡」「花芯の刺青 熟れた壺」「発禁本「美人乱舞」より 責める」
城定秀夫(映画監督)	「ピンクカット 太く愛して深く愛して」「狂った果実」「ラブホテル」「キャバレー日記」「天使のはらわた 赤い数量」
白石和彌(映画監督)	「黒薔薇昇天」「閉鎖!! どんでん返し」「赤線玉の井 ぬげられます」
白川和子(俳優)	『色情めず市場』「恋狂い」「闇に浮かぶ白い肌」「一条さゆり 濡れた欲情」
瀬々敬久(映画監督)	「天使のはらわた 赤い教室」「狂った果実」「天使のはらわた 赤い淫画」「母娘監禁・牝」「人妻集団暴行致死事件」
園子温(映画監督)	「天使のはらわた 赤い淫画」「天使のはらわた 赤い教室」『色情めず市場』
田中真理(俳優)	「セックス・ライダー 濡れたハイウェイ」「牝猫たちの夜」「恋の狩人(ラブ・ハンター)」「濡れた唇」「恋人たちは濡れた」
谷ナオミ(俳優)	「生贖夫人」「花芯の刺青 熟れた壺」
月永理絵(映画ライター)	「天使のはらわた 赤い教室」「薔い髪の子」「恋人たちは濡れた」「OL百合族!」
寺島まゆみ(俳優)	「天使のはらわた 赤い淫画」「ピンクカット 太く愛して深く愛して」「人妻集団暴行致死事件」「赤線玉の井 ぬげられます」「ピンクのカーテン」
富田克也(映画監督)	『色情めず市場』「薔い髪の子」
中田秀夫(映画監督)	「美少女プロレス 失神!秒前」「ズーム・イン 暴行団地」「ピンクのカーテン」「輪舞」「団鬼六 妖艶能面地獄」
中原昌也(ミュージシャン・作家)	「閉鎖!! どんでん返し」「愛欲の罠」「ズーム・イン 暴行団地」「大人のオモチャ ダッチワイフ・レポート」「墮落泥の星 美少女狩り」
濱口竜介(映画監督)	「黒薔薇昇天」「壇の浦夜夜合戦記」
古澤健(映画監督)	「黒薔薇昇天」
松田広子(プロデューサー)	「黒薔薇昇天」
真魚八重子(映画ライター)	「愛に濡れたわたし」「ズーム・イン 暴行団地」「団鬼六 花嫁人形」「実録エロ事師たち」「奴隷妻」
三宅唱(映画監督)	「薔い髪の子」「一条さゆり 濡れた欲情」「わたしのSEX白書 絶頂度」
宮下順子(俳優)	『色情めず市場』「薔い髪の子」「濡れた唇」
森岡龍(俳優・映画監督)	「天使のはらわた 赤い教室」「愛欲の罠」「嗚呼! おんなたち 猥歌」
行定勲(映画監督)	「閉鎖!! どんでん返し」「天使のはらわた 赤い淫画」「ラブホテル」「嗚呼! おんなたち 猥歌」「白い指の戯れ」
横浜聡子(映画監督)	「閉鎖!! どんでん返し」「狂った果実」「わたしのSEX白書 絶頂度」
ライムスター宇多丸(ラッパー・ラジオパーソナリティ)	「ピンクカット 太く愛して深く愛して」「(本)噂のストリッパー」
渡辺大知(俳優・ミュージシャン)	「薔い髪の子」「ラブホテル」
Clément Rauger(映画批評家)	「天使のはらわた 赤い教室」『色情めず市場』「牝猫たちの夜」「ズーム・イン 暴行団地」「恋人たちは濡れた」「乳首にピアスをした女」
Dimitri Ianni(キタコ現代日本映画祭プログラマー・ロマンポルノ/研究家)	「天使のはらわた 赤い教室」「生贖夫人」「人妻集団暴行致死事件」「天使のはらわた 赤い数量」「四畳半襖の裏張り」しのび肌」
Jim O'Rourke(ミュージシャン)	「愛欲の罠」「大人のオモチャ ダッチワイフ・レポート」「墮落泥の星 美少女狩り」「昭和おんなふろ 潔性門」「濡れた荒野を走れ」「色情姉妹」「八月はエロスの匂い」「恋の狩人 欲望」「エロスの誘惑」「白い指の戯れ」
Jose Luis Rebordinas(サンセバスチャン国際映画祭ディレクター)	「花と蛇」
Paulo Branco(プロデューサー)	「牝猫たちの夜」「ANTIPORNO」
Richard Peña(映画祭名誉ディレクター・コロンビア大学教授)	『色情めず市場』「薔い髪の子」
内藤由美子(シネマヴェーラ渋谷支配人)	「OL日記 濡れた礼束」「絶頂姉妹 墮ちる」

セクターからのコメント

- **柄本佑**「未亡人下宿 初ノリ」僕の中では青春映画の金字塔として君臨する「未亡人下宿 初ノリ」！上映が決まり、自分が山本晋也監督フリークだった時期に伊地智啓さんと未亡人下宿の話で盛り上がった時「山本晋也は天才だよな」とおっしゃられていた事を思い出します。実は劇場で観るのは初めて…。誰よりも楽しみにしているのは私です。シネマヴェーラに感謝です！ありがとうございます！
- **中原昌也**「閉鎖!! どんでん返し」映画よりも現実の方がよっぽど場当たりだ！という怒りが爆発の連続。ここまで緻密にいい加減な作品を他に知らない。神代の代表作と決して断言できないところが気に入ります。
- **真魚八重子**「愛に濡れたわたし」とことん女に弄弄されるという遊戯がしたい男性にとって究極の理想。女にとってもこんな奇行に付き合ってくれる男性ほど信頼できる存在はない。この愛は確かで深い。
- **Jim O'Rourke**「愛欲の罠」まるでヘビが自分の尻尾を噛むように、愛欲の罠はそれ自体を包み込んで蛇皮に変えて、人生を絞り出すまでその皮膚を脱がせ続けるのだ。
- **渡辺大知**「ラブホテル」エキセントリックな画面構成に興奮しました。その中で登場人物たちは切なく湿っぽく輝き、泥臭くも劇的な物語が展開されていきます。肉体を越えた人と人との縁の物語だと思います。
- **草野なつか**「天使のはらわた 赤い教室」鑑賞後しばらく立ち上がれなかったことをよく憶えています。ひたすら鋭利で暴力的なのに、妙な軽やかさがざらりと残る。私にとって大切な一本です。
- **城定秀夫**「狂った果実」自分が映画監督になりたいと思ったきっかけはロマンポルノとの出会いであり、その中で一番好きな監督が根岸吉太郎監督です。煙草の煙に包まれた場末の名画座で「狂った果実」を観たときの衝撃は忘れられません。
- **佐々木敦**「母娘監禁・牝」「母娘監禁・牝」をはじめて観たときの驚きとときめきは今も忘れられない。少女の自殺。ひこうき雲。薄暗い部屋。そして冷蔵庫。前川麻子の儚くも凛とした存在感は奇跡的ときえ言っている。ロマンポルノに留まらず、私の生涯ベスト映画の一本です。
- **上條葉月**『色情めず市場』画面全体に充滿する性への執着と生命力の乾いた熱気。太陽に晒された白昼の路地には梅樹も美しくもなく、すべてを拒絶する芹間香が一人立つ。むき出しの人間そのものの肯定に何度でも圧倒される。
- **Clément Rauger**「ズーム・イン 暴行団地」ほぼ実験映画であり、ジャックに影響を受けながら、物語ではなく視覚的構造に全てを賭けている。殺人者のアイデンティティはもはや問題ではない。軋む革、工具の突き刺さった裸体、画面に侵入する炎。この抽象的傑作は苦悩と喜びの関係を描写すべく現実を歪めている。
- **Dimitri Ianni**「生贖夫人」この映画には「小沼美学」の極みがある。日本家屋において背徳と道徳がきしみ合い、窓の外眩い緑が目射る。森田によって撮られたこの映画は、加藤泰の『陰獣』とならんでフジフィルムによるもっとも美しい達成だ。